

呉羽山丘陵 NEWS

VOL01 R5年9月1日

発行所 呉羽山観光協会

ドリームブリッジくれは

連絡先 富山市吉作3682-3

呉羽ハイツ内 ☎：076-436-0191

呉羽山観光協会 田畑裕明会長ご挨拶

日頃より呉羽丘陵等における観光振興に取り組む当協会活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございますことに厚く御礼申し上げます。

昭和45年に設立いたしました当協会も、令和3年には節目となる50周年を迎えることができました。これもご支援をいただいております富山市行政、会員の皆様、地域の方々のご理解の賜物です。誠にありがとうございます。折しも、呉羽山公園と城山公園を結ぶ歩道橋「呉羽丘陵フットパス連絡橋」が起工した年であり、富山市の新たなランドマークとして大変期待される連絡橋は完成を間近に控えております。連絡橋完成後には、接続するフットパス散策路の整備や周辺環境整備がパークPFIの手法で行われる予定です。

今回、当協会では呉羽丘陵の名所や歴史、また当協会が「50周年記念事業」として新たに進めている各種活動をご紹介しますべく、広報誌を発行することといたしました。

春は桜、夏は相撲大会、秋は松茸狩り、冬はスキーと古くから市民の皆様が親しまれてきた呉羽丘陵の魅力を、より多くの皆様にお伝えできるよう広報活動にも力を入れて参ります。

結びに、今後とも呉羽山観光協会の事業推進により一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



「立山あおく特等席」呉羽山公園展望台よりのぞむ 朝の立山連峰

■カラタチバナ（唐橘）

「万両、千両、百両」など赤い実がつく植物は、お正月の縁起物として古くから親しまれています。

呉羽丘陵では「百両」を所々で見ることができます。百両とは「カラタチバナ（唐橘）」のことを指します。常緑の小低木で、高さ20～70cm、白い花が7月に咲きます。秋になると写真のように、赤い実を葉っぱの下に付けます。林の中の日陰を好みます。皆さんも一度探してみてくださいは如何でしょうか。また、「十両」と呼ばれる小さな樹木「ヤブコウジ」は、散策路の足元でたくさん見ることができます。



■トンボの秘密

トンボは化石で発見されることもよくあります。そう、トンボは1億年以上前から地球に存在しています。人類より遥かに長い期間を進化・生存しているのです。晴れ渡った青空を高速で飛び交うトンボをよく見かけます。強風の中でも上下左右・自由自在に飛べるのはなぜでしょう。

・・・その秘密は「羽」にあるのです。

秘密① 羽の断面を調べると凸凹になっていて、空気をスムーズに流す仕組みになっています（ゴルフボールの仕組みでしょうか）。

秘密② 4枚の羽のそれぞれ先端近くの前側をよ～く観てください。少し色の変った小さな模様が見えます。これを「縁紋」と言い、厚めに作られています。この重しのおかげで風による振動（フラッター）を抑えて飛行しやすくしているのです。

ナント！これと同じ仕組みは現代の航空機にも利用されています。トンボさんは遥か以前にこの仕組みを知っていたのですね！

縁紋



呉羽山観光協会イベントのご案内

- ・呉羽丘陵の魅力を探る会・・・8月24日(木)「終了」・10月26日(木)偶数月の第4木曜日 13:30～15:00 開催。参加者がその時々のテーマ(例えば貝塚・古墳・中世の呉羽山・白鳥城址等など・・・)を持ち寄り気軽に「聴く・話す」をモットーに楽しく呉羽山の魅力に触れる会です。参加申し込み不要です。参加費は飲み物代・会場費込みで毎回500円です。第2回は呉羽地区センターで開催となります。



- ・長岡御廟を訪ねる会・・・9月14日(木)9:00～11:30 真国寺、永田円了住職より「歴史から学ぶ」をテーマに長岡御廟にまつわる興味深いお話をいただきます。また境内の案内も予定しております。申し込みは下記の URL からお入りください



- ・七面堂模型展示会・・・10月28日(土)13:00～17:00、10月29日(日)9:00～15:30 五福地区センター。江戸時代呉羽山五時谷頂上附近には富山藩ゆかりの寺社仏閣・建造物が多く有り、沢山の観光客で賑わっていました。その中でも不思議な形をしたお寺(七面堂)の模型の展示と関連の解説パネル展を開催します。



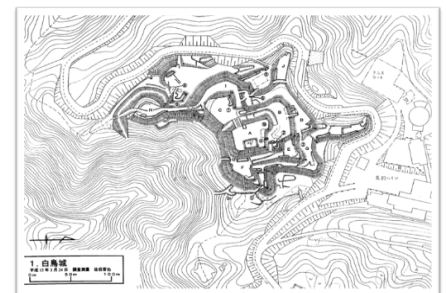
- ・呉羽山丘陵を綺麗にする日(富山市主催)・・・10月7日(土) 詳細未定です。

- ・石仏清掃会と解説・・・11月6日(月) かつて呉羽山丘陵にあった石仏が一カ所に集められフットパスコース沿道に鎮座しています。年に一度の清掃と石仏の解説です。気持ちのスッキリします。



- ・白鳥城址ウォーキング・・・11月13日(月)

山城の説明を聞きながらウォーキング、今回がシリーズの第1回目です。弥生時代からあった集落の跡地でもあります。縄張り図を見ながら、山城での攻防戦を妄想しながら歩きます。戦国時代の名だたる武将も出てきます。



越中中世城郭図面集 佐伯哲也著より転載

【イベント詳細・申し込み】

呉羽山観光協会イベントの詳細・申し込みは右記QRコードよりご確認ください。

もしくは、呉羽ハイツ内事務局までお問い合わせ下さい。

076-436-0191



ドリームブリッジくれは ニュース

- ・ 9月21日(木)「宮司に聴く豊栄稲荷神社と富山藩」 豊栄稲荷神社にて
- ・ 10月17日(火)「民俗民芸村」「五百羅漢」「茶室円山庵」「土人形作り体験」
モニターツアー・・・民俗民芸村バス停前集合
- ・ 11月16日(木)「住職に聴く長慶寺と五百羅」 長慶寺にて
- ・ 12月12日(火)「七面堂と周辺の歴史」「吊り橋の状況」 呉羽ハイツにて

※いずれも9:00スタート 12:00解散

ドリームブリッジくれはへのお問い合わせ・お申し込みは右記

QRコードよりご確認ください。

もしくは、呉羽ハイツ内事務局までお問い合わせ下さい。

☎ 076-436-0191



NPO 法人きんたろう倶楽部、イベントあれこれ

NPO 法人きんたろう倶楽部は呉羽丘陵を中心に森づくりや里山の利活用をおこなっている団体です。以降の活動をご案内します。

・ 呉羽丘陵を中心とした里山整備・・・ノコギリなどは準備しますので、お気軽にご参加下さい。9月15日(金)・9月23日(土)・10月22日(日)・11月1日(水)・11月3日(金)等、詳細はお問合せ下さい。

・ くれは山荘卓話・・・各界の専門家を招いてお茶や菓膳デザートを頂きながらお話を伺います9月2日(土)[野草について:王紅兵氏]

10月7日(土)[呉羽丘陵への想い:藤井裕久氏]

11月4日(土)[森は海の恋人:稲村修氏]

12月2日(土)[森・みどりと健康:鏡森定信氏]

詳細はQRコードからご確認ください。



呉羽丘陵月いちウォーク 楽しく歩く、聴く、話す、交流する

毎月第2土曜日は、呉羽丘陵の自然に楽しみ、健康づくりも兼ねてウォーキングしてみませんか。

9時30分スタート富山市ファミリーパーク集合出発 (事前申し込み不要)

開催日

5kmコース

8kmコース

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ・ 9月9日・幻の滝と朝日の滝めぐり | ・ 初秋の森と幻の滝 |
| ・ 10月14日・古沢神明社から古墳の路 | ・ ミステリーの森を冒険する |
| ・ 11月11日・眺望の丘から尾根の落ち葉を歩く | ・ 御鷹台から縄文原生林の落葉を歩く |
| ・ 12月9日・のぞみの丘から新雪の立山連峰を望む | ・ 呉羽尾根縦走路から新雪の立山連峰を望む |
| ・ 1月13日・砂防ダムから御鷹台の眺望 | ・ 新雪を踏んで杉木立からのぞみの丘 |



呉羽丘陵月いちウォーク実行委員会

詳細は QR コードからご確認下さい。



呉羽丘陵の歴史散歩 |

夢の実現「呉羽山・城山間の連絡橋」の完成

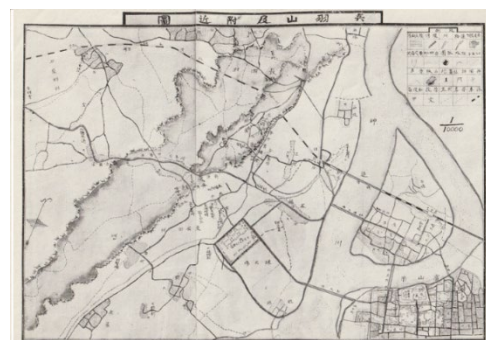


完成イメージ図

北日本新聞朝刊より (2021.3.24)

「呉羽山・城山間の連絡橋」が架かる場所は、昭和10年代に呉羽山丘陵を切り割りして造られた国道11号（のちに国道8号）現在、県道富山高岡線の峠部分で西側から富山市街へ入るゲートウェイ的な機能を持っている。

これ以前の呉羽山丘陵は、北から八ヶ山（30.0m）、呉羽山（71.3m）、城山（145.3m）の代表的なピークを持つ南北8kmの小高い山並みで、尾根伝いに山道が続いていた。そしてこの山並みを横断していた道路は、旧北陸街道、明治初頭の明治天皇北陸巡幸の五福新道で国家的な事業として整備されていた。



大正2年9月20日発行、小柴長矩著の『呉羽山の地図』

この時代の状況を大正 2 年 9 月 20 日発行、小柴長矩著の『呉羽山』では、「呉羽山とは、全山の総名にして、連峰の部分により城山、明神山、五時谷、安養坊山、道心山、桜谷、長岡、八箇山等の称なり」と記している。さらに尾根道についても五福新道が横断している峠茶屋から南側、城山までを「五福新道の白壁茶屋より近道して山上長久院（現、七面堂）の坂道を上り、それより西に向かい坂を下れば旧北陸街道の峠路に出る。」とし、「明神山を越えれば、・・・十余町にして城山に達す、城趾なり」と紹介している。また北側の尾根道についても「御成坂（大正天皇が皇太子であった明治 42 年 10 月 1 日、五福新道の白壁茶屋から呉羽山へ登られた道）を北へ進めば、拾余町にして山天（お野立所）に着きます。お野立所跡を出て北方約一里の処、安養坊坂の山上、さらに二町近く北に行けば桜谷あり、昔一目千本の桜花の名所なり・・・」と記し、さらに「桜谷から北へ進み、呉羽トンネルに入る北陸鉄道の壯観を眺め、拾余町にして一溪に出て長岡橋（極楽橋）に達す、さらに四萬石用水（牛ヶ首用水）に沿って二町余り歩くと一橋（地獄橋）あり、橋を渡ると燈道を経て歴代富山藩主の御廟がある。そして長岡御廟の東、一溪を隔て百塚山（八ヶ村から出た人夫によって四萬石用水の開削土砂を山上に積み上げたことにより八ヶ山と改称）、呉羽山の尽くる所なり。」と呉羽山の全容を紹介している。

このように市民から親しまれてきた呉羽山丘陵も昭和 10 年代の国道 11 号で北側、呉羽山と南側、城山とに分断されたものの、昭和 30 年代以降の都市化の波で大きく変化をした。

先ず、昭和 33 年（1958）の富山国体を前にして城山に NHK の TV 塔が建設され、（以降民間 TV 局が建ち、現在 5 基）昭和 35 年、富山ヘルスセンター（富山観光ホテル）、昭和 40 年、富山市民俗民芸村が開設と呉羽山丘陵の大半を呉羽山公園（114.0ha 一部、昭和 14 年）と城山公園（324.5ha）として都市計画決定された。その後昭和 47 年、呉羽ハイツ、昭和 54 年、富山医科薬科大学が進出、昭和 59 年、富山市ファミリーパークが開園と次々と大型施設が建設された。

なかでも自動車を通れる本格的な道路が呉羽ハイツに合わせて五福寺町から吉作間で開通し呉羽山丘陵全体がレクリエーションの場として期待されるようになった。

この様な変化を受け、呉羽山公園と城山公園を結ぶ連絡橋の整備が叫ばれ、そして分断された区間に架かる橋を「夢の懸け橋」と呼ぶようになった。

以降、50 年ほど色々な調査や議論がなされたが、令和 3 年 3 月（2021）「呉羽山・城山間の連絡橋」の着工が実現し、現在整備中で令和 5 年 10 月ごろ（2023）、一部オープン予定と言われている。



工事風景：令和 5 年 8 月

約 90 年ぶりに分断された呉羽山と城山が結ばれることは、呉羽山丘陵全体のネットワーク化を進め民俗民芸村、多目的広場や呉羽ハイツ、そして富山市ファミリーパークなどの拠

点施設を核として新たなフットパスなど多目的な利用につながるものである。

また前述した『呉羽山』でも多くの見どころ旧跡を紹介しているように白鳥城址や古沢塚山古墳、杉谷四隅突出型古墳など歴史的価値の高い名所が多くあり、これらの魅力を醸し出すことも、合わせて重要と思われる。

呉羽山丘陵をホームグラウンドとして活動している呉羽山観光協会は、昭和 45 年の発足以来、観光案内板を設置するなど各種の取組みを実施してきたが、生まれ変わる呉羽山丘陵の変化を先取りし、ホームページの刷新や観光案内板に QR コードを掲載、さらに観光ガイドボランティアの会「ドリームブリッジくれは」を組織して観光客ニーズに応えられるよう体制づくりをしてきた。

今後は、さらに市民参加の「白鳥城址保存会」の発足を目指しており、利用者が自ら参加をし、楽しみ、親しむ呉羽山丘陵の活用を実現したい。

このように「呉羽山・城山間の連絡橋」の完成は、都市計画決定により広大な都市公園（438.5ha）として保全管理されてきた市民共有の財産である呉羽山丘陵の利用促進と魅力アップに大きく貢献してくれるもので、まさに「夢の懸け橋」である。

呉羽山観光協会では、これを契機にして広報紙『呉羽山丘陵NEWS』を発行し、呉羽山丘陵の魅力を紹介していきたい。

会 員 募 集

「一緒に活動しませんか？」

《呉羽山観光協会・ドリームブリッジくれは》では、呉羽山丘陵で自然と触合い、フットパスで健康づくりに汗を流す、古墳や史跡・遺跡を学び、ボランティアガイドを目指す等、日々の生活に潤いをもたらす活動を展開しています。是非仲間になりませんか。活動状況は各協会の HP をご覧下さい。

お電話でお問い合わせの場合は右記まで。呉羽ハイツ内事務局 076-436-0191

編集長のつぶやき

展望台の顔

今年は特別な夏、猛暑が続きまとまった雨も 1 ヶ月以上は降っておらず、また呉羽山のあの賑やかな蝉の鳴き声までが声をひそめている。……が
眼下には手前に神通川が流れその奥に高層ビルが建ち並び新幹線と在来線が同時に通り抜ける姿も富山の呉羽山丘陵ならではの絶景である。

老夫婦がベンチに肩を寄り添ってかける姿、棚に身を乗り出し 60 歳くらいの男性が高価そうな望遠レンズを覗き込みしきりにシャッターを押す。若者のグループが声高に話しているが、食べ物の残りを紙袋に入れ持ち帰る姿を見ると若者も満更ではないと思う。

他県の世界遺産地で観光客が撮影のため棚に寄りかかり、そのまま転落死の痛ましい事故が頭をよぎる。……安易な行動は危険と隣り合わせだ、思わず柵を揺さぶってみる。「ビクともしない」、錆がないか老婆心で点検、ほっとする。この場所に限らず危険箇所の点検の大切さを思う。

夢の架け橋の完成も近くなってきた、散策コースの整備・点検を常に考え、それぞれの立場で切磋琢磨しながら訪れた人に安心を届けたいものである。

会員・協賛団体・協賛企業

個人会員は未掲載（個人情報保護）・敬称略・順不同

五福校下自治振興会	特別養護老人ホーム梨雲苑	呉羽地域連合自治振興会
五福連合町内会	富山市ファミリーパーク	呉羽懇話会
寺町連合町内会	豊栄稻荷神社	五福校下ふるさとづくり推進協議会
金屋連合町内会	富山日野自動車株式会社	桜谷地区ふるさとづくり推進協議会
桜谷自治振興会	富山市北商工会 呉羽支部	呉羽地区ふるさとづくり推進協議会
神明地区自治振興会	三耐工業株式会社	長岡地区ふるさとづくり推進協議会
呉羽地区自治振興会	呉羽ハイツ	古沢地区ふるさとづくり推進協議会
呉羽町自治会	有限会社クレハペイント	老田地区ふるさとづくり推進協議会
吉作自治会	富山鋼機株式会社	寒江地区ふるさとづくり推進協議会
高木自治会	株式会社柴崎農園	池多地区ふるさとづくり推進協議会
茶屋町自治会	社会福祉法人 めひの野園	富山熔断株式会社
追分茶屋自治会	社会保険労務士法人ワークデザイン	藤川建設株式会社
住吉自治会	日拓測量調査株式会社	
花木自治会	松原建設株式会社	
長岡地区自治振興会	株式会社 ModelingX	
長岡新自治会	いおざき印刷株式会社	
八ヶ山自治会	トヨタモビリティ富山株式会社	
古沢地区自治振興会	ネッツトヨタ富山株式会社	
杉谷自治会		
古沢自治会		
老田地区自治振興会		
寒江地区自治振興会		
池多地区自治振興会		
呉羽本町自治会		
富田町自治会		